

# 仲町一～六丁目町内会との意見交換会（記録）

日時：令和3年8月10日（火）  
午後6時30分～8時00分  
場所：木田庁舎 第2委員会室

## ○ 出席者

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 仲町一丁目町内会長
- ・ 仲町三丁目町内会長
- ・ 仲町五丁目町内会副会長
- ・ 仲町六丁目町内会長

[農政建設常任委員会]

- ・ 本山正人委員長
- ・ 山田忠晴副委員長
- ・ こんどう彰治委員
- ・ 橋本洋一委員
- ・ 丸山章委員
- ・ 宮崎朋子委員
- ・ 高橋浩輔委員
- ・ 飯塚義隆委員（議長）

（司会：広報広聴委員会 牧田正樹委員）

（記録：広報広聴委員会 鈴木めぐみ委員）

## 1 挨拶

上越市議会 議長 飯塚 義隆

## 2 テーマ説明・参加議員紹介

農政建設常任委員会 委員長 本山 正人

「まちなかの空き家対策について」

## 3 意見交換会

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 町内会長になって5年経ったが、会長になったばかりの頃よりは空き家が減っている。
- ・ 旧町家の空き家が3軒売れた。うち、2軒は関東在住者が購入し、両方ともリフォームして貸家になっている。若い世代が入居して子どもが増えた。
- ・ 連絡がつかない空き家は1軒あったが、建築住宅課に相談したところ、対応してもらってありがたかった。空き家の木が大きくなり過ぎたことによって雪が落ちてきてしまう問題も建築住宅課に相談したところ、対応してもらえた。

- ・ 関東の人に一斉雪下ろしについて説明しても、なかなか分かってもらえない。遠方の人とのやり取りは大変なので、今後対応を考えてほしい。
- ・ 仲町三丁目は飲食店や持ち家、借家が混在していて複雑。
- ・ 道路側の表は空き家だが、その裏に住んでいるというところもある。
- ・ 一斉雪下ろしの際は空き家の持ち主とスムーズに連絡が取れた。
- ・ 倒壊寸前の空き家が1~2軒程度あり、市役所を通じて連絡を取っている。
- ・ 空き家の9割程度は持ち主と連絡がつくので、それほど困っていない。残りの1割は、築40年以上の飲み屋が7~8軒あり、入れ替わりが激しいため、所有者の把握が難しく、現在2名しか把握できていない。古くなって壁が落ちてきているが、手をつけられないのが現状。
- ・ 高齢者世帯が多く、子どもとの同居を機に空き家になるケースがここ1~2年多い。
- ・ 町内に空き家が12軒あり、そのうち空き家になって10年以上経過した空き家は10軒ある。
- ・ 現在、空き家の所有者全員に連絡がつく。
- ・ 空き家に事業所が1軒入った。
- ・ 町内全体で22~23軒空き家がある。
- ・ 屋根が抜け落ちている空き家があり、行政代執行をお願いしたが、担当課にはできないと言われた。
- ・ 親世代と同居する世帯がないため、高齢者が住んでいる家は空き家になる確率が高いのではないかと。
- ・ まちなか居住推進地区で様々な考えを聞き、街中に住む人が増えると期待しているが、現実には難しいのではないかと。
- ・ 関東から3世帯帰ってきたが、親が亡くなった後は1人で住んでいる。上越に戻ってきても安定した職がないというのも原因の1つではないかと。
- ・ 価値観の変化がなければ町家に未来はないのではないかと。
- ・ 雁木を作るには100~200万かかるが、作らないと周りからいろいろ言われる。
- ・ 町内会長として、いろいろな意見をまとめるのは難しいと感じている。

#### [こんどう委員]

- ・ 仲町一丁目の空き家に買い手がつき、貸家になっているとのことで、長い間家を空けているのに変わらないが、空き家にしているよりはいいと思う。
- ・ 町家は、隣の声が聞こえるところが長所であり短所でもある。
- ・ 市には空き家情報バンク制度というものがあるが、仲町六丁目は申請していない。登録してみてはどうか。

#### [仲町一~六丁目町内会]

- ・ 1つの地番に3軒の家があり、柱を共有しないと車が入らないという問題もある。

- ・ 有効活用のためには価値観を変えていかないと難しいのではないかと。

[橋本委員]

- ・ 13区は都会に出てしまうと連絡がつかなくなってしまう。
- ・ 市に空き家全体を管理することができないかお願いしたが、難しいとのことだった。

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 所有者とは、町内会費や一斉雪下ろしなど必要がある時に連絡をとっている。頻りに連絡をとっているわけではない。町家に住んでいると昔からの付き合いで連絡が付きやすい。

[丸山委員]

- ・ 町家や雁木は保存していくべきだと思う。
- ・ 住みにくいから出ていくのか、仕事の関係で出ていくのか、町内会長の認識はどうか。
- ・ 企業誘致などに行政がどう関わっていくのか。

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 住みにくくて出ていく方はいないと思う。仕事の関係で出ていった子供が別の場所で家を建てて帰ってこられないのではないかと。
- ・ 住みやすいかどうかは解釈の違いではないかと。
- ・ 住みにくくて出ていくわけではなく、地元で希望する就職先がなく、生活するために都会に出ていくのではないかと。
- ・ 今すぐ住める状態の空き家と、リフォームしなくては住めない空き家がある。
- ・ 関東に住んでいる人から見れば魅力があると思うので、リフォームしていけばいいのではないかと。

[宮崎委員]

- ・ 空き家が多くなれば、防犯や火災の問題、敷地の中の立木の問題が出てくると思う。
- ・ 空き家情報バンク制度は町家で登録しづらいことに原因があるのか。(R3.7.30現在31軒、累計47軒、上越市のホームページで公開されている。)
- ・ 各町内に空き家予備軍はどのくらいあるのか。

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 町内で防犯、防災の担当者がいる。
- ・ 町内の草刈り等は持ち主の理解を得て行っている。草刈りを行った場合、持ち主からはごみ袋をもらったりしているが、除草剤などの費用は町内会で出している。
- ・ 六丁目は約100世帯220～230人住んでいるうち、高齢者は75～76人。民生委員と連絡を取りながら見守っているが、民生委員の手が足りていない状況。
- ・ 五丁目は約50世帯のうち、空き家予備軍は3～4軒。

- ・ 三丁目は250世帯あるが、住居は110世帯で、残りは居酒屋など。70歳以上の方が120名。1人世帯や老々世帯が多いため、空き家候補も多いと思う。
- ・ 一丁目は世帯の3分の1がマンション。マンションは、出入りが激しく、1人で住んでいる人が多いため把握するのが難しい。

[高橋委員]

- ・ 仲町に住んでいるため、厳しい現実が胸に刺さる。これから空き家になる家屋は多いと感じる。取り組める課題は多いと思うが、これからの空き家対策で行政に求めることはあるか。

[仲町一～六丁目町内会]

- ・ 行政ではなく議員にお願いしたい。空き家問題はあらかじめ予想できることなので、もっと早くから取り組んでほしかった。議員の仕事として行政のチェックが甘いと感じる。行政の方が先に動いてくれているので、行政の動きにもっと敏感になってほしい。少ない予算で大きな効果が出るよう期待している。
- ・ 災害時の対応が難しくなっている。
- ・ 町家はプライベートがないと感じる人もいるので、土地を全部埋めるのではなく、空間を作るような建て方をすればいいのではないか。
- ・ 空き家になっていても隣近所に被害がなく、町内会へのクレームもなく順調に処理できているので、行政への要望はない。
- ・ イチョウの落ち葉がひどい空き家があったが、町内会から直接連絡するより、市を通して連絡した方がいいと思い、市から連絡してもらった。その結果、木を切ってもらうことができた。
- ・ 一番の問題は雪である。除雪後に流雪溝へ流すが、高齢者にはできない。現在は、周りの人たちの協力でやっているが、その人たちも高齢化していくので、今後どのように対応していくのか考えてほしい。
- ・ 空き家にベトナムの方が入った。ごみの分別について町内会で説明しているが、日本語のごみ分別収集カレンダーしかなく、また、その空き家が寮になっているため、人の出入りも多くなかなかうまく伝わらない。外国人向けのごみ分別収集カレンダーを作してほしい。

#### 4 閉会の挨拶

農政建設常任委員会 副委員長 山田 忠晴